



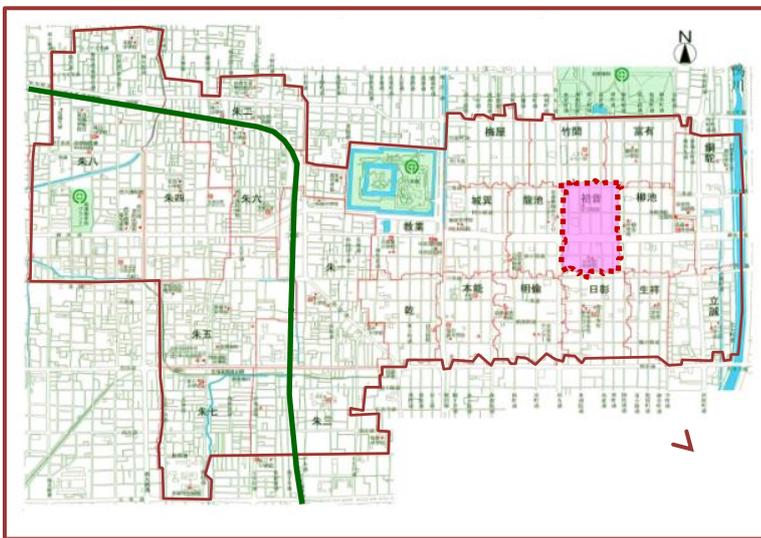
# はつね 初音学区

初音学区は、<sup>からすま</sup>鳥丸通の東に位置し、学区の真ん中を<sup>おいけ</sup>御池通が貫いています。

平安時代には貴族の邸宅が建ち並び、「伊勢物語」の主人公として有名な歌人の<sup>ありわらのなりひら</sup>在原業平の屋敷もこの地域にありました。

「初音」という名前の由来は、室町時代にこの地に建立された<sup>どんげいん</sup>曇華院の境内にあった「初音の杜<sup>もり</sup>（森）」であるとされています。

現在は元初音中学校(戦前は元初音小学校)跡地に建設された子ども相談センターパトナで開催される大運動会など、様々な行事が行われています。



京都市教育相談総合センター子どもパトナ（元初音小学校）



御所八幡宮社の正面



神輿を担ぐ様子

学区の文化や歴史的建造物など **「<sup>ごしょはちまんぐうしゃ</sup>御所八幡宮社」**

この神社は現在御池通<sup>たかくら</sup>高倉角にあります。戦争による強制移転前は、旧御池通<sup>さかいまち</sup>堺町角にありました。この八幡社が「御所」八幡宮と呼ばれるのは、<sup>あしかがたかうじ</sup>足利尊氏が自らの邸宅内の守護神として<sup>かへしよん</sup>勧請したことに由来するといわれています。尊氏の法名より<sup>とうじじはちまん</sup>等持寺八幡とも、また現在の地名から<sup>たかくらはちまん</sup>高倉八幡とも呼ばれ、親しまれてきました。

特に、安産と幼児の守り神として有名で、秋の例祭では、学区の住人らによって担がれた<sup>みこし</sup>神輿が、学区内をにぎやかに巡行されています。

※神仏の霊を寺社に新たに迎えて奉安すること

自治会・町内会に加入しましょう

# 初音自治連合会

初音自治連合会は学区内にある24の町内会・自治会と、25の各種団体が協働し、地域の活性化と安心安全、問題解決に取り組む、地域住民による組織です。

## 主な年間行事

4月 桜まつり

6月 初音学区防災の日

8月 夏まつり(盆おどり)

9月 敬老懇親会、初音文化作品展

10月 学区民大運動会

11月 初音ふれあい広場



夏まつり(盆おどり)



※例年実施していました主な行事ですが、新型コロナウイルス感染症予防対策として、開催を自粛する場合があります